

出版情報

書名・件名	厚生白書(昭和43年版)
副書名	一広がる障害とその克服一
編集者・監修者	厚生省
所在地	東京都千代田区霞ヶ関1-2-2
国名	日本
郵便番号	100-0013
電話番号等	03(3503)1711
発行日	昭和43年12月5日
ISBN	
価格	520円

昭和42年度厚生行政年次報告書の発表に際して

昭和31年に厚生省が最初の厚生行政年次報告書を発表してから今年で12年目になります。この間、人間尊重の理念に基づき、健康で文化的な国民生活の実現のため努力を積み重ねてまいりました厚生行政について、年々その「厚生白書」が国民の皆様の関心を集め、またその理解を深める役割をいささかなりとも果たしてきてきましたことは、大きな喜びとするところであります。

ここ十数年の間、わが国の経済面における発展はまことにめざましいものがあり、国民総生産では世界第3位、1人当たり国民所得においても長い間目標としていた西欧先進国の一角にほぼ追いつくという成果をあげたのでありますが、社会保障の面においては、逐年その水準の向上に努力を重ねてきたものの、なお種々の問題が山積している実情にあります。

日常の国民生活の問題として古くから指摘されてきたいくたの生活障害についてすらも今なお多くの問題が残されているだけでなく、高度の経済成長、著しい国民生活水準の向上とあいまって、あるいは生活の障害が質的に変化し、あるいは全く新たに発生するなど、国民生活の不断の向上を阻害する障害群はますます増加する傾向さえ示しつつあります。

われわれが未来に向かつて、人間の尊重を第一義とする政治を通じ、明るく豊かな望ましい国民生活を実現しようとするためには、まず何よりもこのような拡大する障害に対し、勇気をもってその克服にあたらなければならないことを痛感するわけであります。

しかるに、昨今、いわゆる財政硬直化論議にからみ、あるいは社会保障の充実を図ると経済成長が阻害されとか、あるいは社会保障関係費の増高傾向が財政を圧迫し景気調整を困難にするとかの論をなすものが散見されますが、これは、以上述べてまいりました人間尊重の理念をその根底に置く厚生行政推進の観点からすれば、まことに寒心にたえないところであります。そもそも経済政策といい、財政政策といい、すべては望ましい国民生活の実現の手段であることを改めて強調すべきであります。

今回の報告書におきましては、以上のような観点から未来に望ましい国民生活を実現していくためには、国民生活を取りまく諸々の障害の実態を直視し、その克服のために、今こそ、経済成長を上回る早さで対策を拡充すべきときであることを強調したのであります。

このような考え方の下に障害克服の施策を展開しようとする厚生行政の現状とその将来について、国民の皆様の一層のご理解とご支援をお願いする次第であります。

昭和43年10月25日 園田 直 厚生大臣